

2021~22年度
国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2021~2022年度クラブテーマ
会長 河邊 幸夫

「みんなで親睦・奉仕 楽しく規律ある例会」

本日の例会：2021年12月15日（水）通算1620回 本年度 第21回

35周年記念式典・祝賀会 18:00～20:30

守屋純子 JAZZ Quartet+宮本美季 (V0) コンサート

● 第1619回 例会報告／2021年12月10日

出席報告：会員53名 出席32名（内ZOOM5名）

ゲスト：南和友（卓話）

ビジター：松井秀文（東京新橋RC）、伊賀大祐（東京新橋RC） 計3名（敬称略）

卓話：心臓血管外科医 南 和友 氏



紹介者：石井会員

会長報告：

新会員 林志英氏 入会式



2020-21年度
ポリオ寄付 100%達成
クラブのバナーが届きました。



幹事報告：

ピアニスト泉さんよりコンサートのご案内です。

「12/21(火)16:00～東京文化会館にて恩師小林仁先生の教え子たちで行います。娘と一緒に演奏いたします。チケットをご用意いたしますので、ご連絡いただければと思います。よろしくお願い申し上げます」



35周年実行委員長：岩上委員長

12/15は35周年記念式典です。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

谷口親睦活動委員長：

1/11に火曜会を開催いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

熊本会員：

新春の豆まきのご案内です。詳しくは、私までご連絡いただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。



12月10日 10件 56,000円 累計 564,000円

多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

2022-23年度ガバナー補佐 松井秀文・グループ幹事 伊賀大祐/河邊幸夫/西澤民夫/穂苅裕久/岩上義明/石井謙次/小林博茂/佐藤仁/谷口友保/小川大介

日時：11月19日（金）15:00～16:00

参加者：台北東海RC：P. Sama会長、小川猛志副会長、PE. Mark次年度会長、笹谷パスト会長、勝山洋光会員
東京赤坂RC：河邊幸夫会長、穂苅裕久副会長、石井パスト会長、岩上パスト会長 計9名

テーマ：「会員増強について」

河邊会長：

- ・1年間で13名入会、内7名は本年度に入会した。例会に出席しているのは2/3程度。
新会員歓迎会、火曜会等に参加して馴染んでいっている。
- ・中には、入会4カ月たっても入会式をしていない人もいる。会費のみをお支払いいただくのも1つの奉仕と割り切っている。
- ・週報ヘプロフィール等を掲載し、周知していく。

Sama会長：

- ・会員1人が1人を紹介することを目標にしているが、難しい。私自身も1人しか紹介できていない。

河邊会長：

- ・紹介するときに「2021-22年度は、私が会長なので、1年で良いから付き合いで入ってくれないか」とお願いした。1年たって嫌なら辞めてよいということで入ってもらっている。1年で辞める人もいるが、ほとんど辞めない。今の幹事もその一人。よく動くし、大変助かっている。
- ・入会希望者は、1回だけ例会に出席していただき、その後、履歴書を提出、面接、理事会で承認の流れである。

勝山さん：

- ・台北東海RCは、4回例会に参加してもらい、その後、長老会にかけて入会となる。
- ・質を下げないよう、人選をしなければというところもある。

石井パスト会長：

- ・東京赤坂RCは、若い方もクラブ協議会に残ってくれるようになり、馴染んできている。
- ・台北東海RCのようにハードルを高くして人選するのもあるが、河邊会長のような形でも良いのでは、と思う。
- ・岩上さんの場合は、法人会などでお声がけしている。

穂苅副会長：

- ・平均年齢が若くなっている。長者がいなくなってきた。フランクになってきている。
- ・面接、理事会で落ちた人はいないと思う。ハードルは高くないが、気楽な感じは、良い方向なのではと感じる。

勝山さん：

- ・東京赤坂RCは、私が在籍していた最後の頃は、若い人が多くなり、若い方が積極的にやっていて良い雰囲気になってきて風通しがよくなっている感じがした。
台北東海RCもよくなっている。そうならないと弊害化してしまう。
- ・姉妹クラブは、10年くらい交流の無いクラブもある。どういった人がいるのかもわからない。
会員同士の交流が無いので、次世代へつなぐことができない。良い人脈を繋げていくのがポイントになる。
それが伝統になる。
- ・新会員のフォローが大切。断片的な関係ではなく、会員同士が綿密に、誰が聞いても同じ回答がくるような、新しい人も魅力を感じて入ってくれることが大切。

岩上パスト会長：

- ・公山城RCとは、西澤さんが日韓交流会に参加したのがきっかけで姉妹締結に繋がった。
コロナの関係もあり4年ほど交流がとだえているが、10名程は顔の知った人がいる。
通訳を用意できれば復活できる。
以前は、マッチンググランドを利用した奉仕活動で、カンボジアの老人ホーム3か所くらいへ計10台ほど送ったことがある。
日韓の関係が一時的に良くないときでも、ロータリーはそういったことを抜きに接してきた。
- ・福山赤坂RCもコロナが終われば復活するだろう。

勝山さん：

- ・台北東海RCは、日本語ができるのでコミュニケーションがとれるというアドバンテージがある。
- ・本当の姉妹関係を築くためにもコロナが収束するとよい。

小川さん：

- ・次々年度会長を務める。入会5年目。会長になるときは7年目になる。
- ・クラブの若返りに貢献できればと思う。
- ・29代やついていて日本人の会長は4、5人ほど。
- ・大先輩方から国際的なつながり、とくに日本との繋がりのことを聞いているので日本との活動を考えている。東京赤坂RCとの繋がりは重要。
- ・赤坂といえば、土地柄、日本の中心、最先端の情報が共有できればと思っている。
- ・私自身、100%の日本人として、台北東海RCに所属して感じるのは、日本語が理解できる台湾の方、台湾に長くいる日本人が会員候補になるため、候補となるパイは限られていることから、ハードルが高い。
- ・会員のなかで、7～8割が台湾の人で日本語が話せる。残り2割が日本人。
- ・日本語を話せる若い台湾の方をいれるのが使命。日本人もいるが、駐在の方が多く、声かけにくい。私のような、台湾で企業している人がどのくらいいるのか。課題である。
- ・駐在の方を入れても良いとなると、クラブの安定性ということを考えると、悩むことろである。

勝山さん：

- ・私がロータリーに入ったときは29歳で、長老ばかりで、だれも若い方がいなくて1、2ヶ月で辞めたかった。その中で声をかけてくれたのが石井さん。お声がけという、人との繋がりがあり、続けてこれた。結局、人のフォローが大切。ちょっとした声掛け、気配りをロータリーで感じて入ってよかったです。新会員は不安だと思うのでイベントに参加したり、会食などで、その人の人となりがわかると思う。
- ・今のZOOMのような小グループで話すことで、この人はこんな考えをもっているのか、などわかってくる。こういった形を積み重ねて、信頼関係を築いていかなければと思う。

石井パスト会長：

- ・現在の会員は52名。私も数ヶ月で辞めようと思っていた。
- ・今の若い人は、せっかく入ったのだから、がんばろう、という人が多い。

岩上パスト会長

- ・厳密にやろうとするクラブもあり、それはそれで良いと思う。クラブによってカラーがある。独自のカラーがあれば良い。

Mark 次年度会長

- ・辞めたいことは何度もあった。
- ・先輩方が諦めず、情熱をもって接してくれた。使命を与えてくれたので、使命感でやってきた。
- ・活動の中で、お互い知り合いながら分かちてくるので、イベントに積極的に参加することが、早くなじむと思う。声掛けをして引っ張ってみると良い。
- ・声掛けの仕方も大切。必要とされている、期待していることを伝えるのが大事。

穂苅副会長

- ・ロータリーには会社の命で入った。
- 会社が変わって、会社に馴染めずカルチャーショックのところ、ロータリーでフランクに接してくれて、救われた。その時のご恩返しをせず離れるのも申し訳ないという気持ちで会長を引き受けた。
- 私は会社に拘束されているので、なかなかロータリー活動ができない。
- 40年社会人をやっているが、ロータリーのフランクさを若い人たちにも伝えられればと思う。



第1回 台北東海RC・東京赤坂RC
ZOOMミーティング 9/10 15:00~16:00

第2回 台北東海RC・東京赤坂RC
ZOOMミーティング 10/18 14:00~15:00

第3回 台北東海RC・東京赤坂RC
ZOOMミーティング 11/19 15:00~16:00

Sama 会長 :

- ・周りにロータリアンが多く、他のクラブにも誘われたが断って、台北東海 RC に入った。
- ・リタイヤしても日本語でエンジョイしたい。子供たちも日本で勉強している。
- ・私は惜しまなく声かけいたしますから、よろしくお願いします。

勝山さん :

- ・Sama 会長のように、こんなに気配りできる方は、初めてといってよいくらいです。

笹谷さん :

- ・仕事も激務なのに、14年ロータリーを続けている。70歳代の大黒柱の方々のおかげ。
入って3年は分からぬことばかり。当時は出席率も重んじていて、出席しないと友人もできない。
奥さんも誘ってくださる機会も多く、皆がわかつてくる。今は、コロナもあるが頻度が少なくなってきた。
- ・イベントのときに友人の声掛けをして呼ぶとイメージが良くなり、誘いやすくなる。
声掛けをすると会員が増えていくのではないか。
- ・駐在の方を5~6名入れたことがある。駐在の方12名いたのが、一気に5名になってしまったことがあるので、難しいなと思った。
- ・奥様の力が大きいから、奥様を大事にしないと。奥様のイベントも良い。
- ・その時代、その時代で色々やっている。

勝山さん :

- ・話もシェアでき、大きな意味があった。
- ・声掛けが大切。どういった言葉で、どういったイベントに誘うか、スタートラインはそこからで、そこで良いイメージになると入りたいとなる。そうなると純粋な気持ちで誘える。
これは、日本、台湾を問わず共通。
5年後、台湾で国際大会をやることが決定したので、それまでに縛を深めて、皆で交流できると良いと思う。
- ・次回について
次回は、スタートラインを遅くして、オンライン飲み会をしたい。
テーマを設げずにやってみてはどうだろうか。
人の輪が広がればいいと思う。
日程は、河邊会長と決めてご連絡する。

| 今後の予定 | 日付 | 開始時間 終了時間 | 場所 | 事項 | 内 容 |
|-------|------------------|----------------|-------------------------------|---------------|--|
| | 12月24日 12月31日 | | | 休 会 | |
| | 2022年 1月 7日 | 12:30 13:30 | B1F オーロラ ANA イタコチネクタルホテル東京 | 例 会 | 「新春落語」 三遊亭円楽 師匠 |
| | 1月 14日 | 12:30 13:30 | B1F オーロラ ANA イタコチネクタルホテル東京 | 例 会 | 卓話：地区奉仕プロジェクト委員長 西澤 民夫 氏 |
| | 1月 21日 | 12:30 13:30 | B1F オーロラ ANA イタコチネクタルホテル東京 | 例 会 | 卓話：イニシエーションスピーチ 大城 正裕 氏 |
| | 1月 28日 | 12:30 14:30 | B1F オーロラ ANA イタコチネクタルホテル東京 | 例 会 クラブ協議会 | 第4回 クラブ協議会 「上期クラブ活動報告・下期クラブ活動計画」 |
| | 2月 4日 | 12:30 13:30 | B1F オーロラ ANA イタコチネクタルホテル東京 | 例 会 | 卓話：イニシエーションスピーチ カネラ・クリスチャン 氏 |
| | 2月 11日 | | 休 会 (建国記念日) | | |
| | 2月 18日 | 12:30 13:30 | B1F オーロラ ANA イタコチネクタルホテル東京 | 例 会 | 卓話： 酒プロデューサー、果実酒・薬用酒のプロ 福光 佳奈子 氏 |